清酒醸造業の勃興 に於け

が左の如く語る

超に韓じたからだ。これで同様の野部の関係が緊密

開州域内棉花栽培は非常に 遼陽を中

古巻、中島廣吉明氏は八日正帝大農県部敦授農庫博士栃内 年入港のたこま丸で來解した

【大連八日體或通】 礦無棉作 研究に

表に依れば八月末國債額

良信のことをいひ出したからであった。それだから今笹沼の口からのつた。それだから今笹沼の口からのつた。それだから今笹沼の口からのではず耳を砂でですには みられな かつたのだが、丁度そこへ観客のながどつと腕下の方へ流れ出して子深がどつと腕下の方へ流れ出して子深がどつと腕下の方へ流れ出して子

大職相發

初京輸入組合

表示の

か用でもある人を見付けたやうなやかれるのを慣るやうに跳つてしまっかれるのを慣るやうに跳つてしまっ

であ京子さんはかなり上手に演っていふやうな女は嫌ひよっそり

相良伯の話はそのま」に

八月分成績

ちょつとあなたに取つちゃあ面白・一英一の方を向いて、

事件なんだから

英一がさういふと千枝子はいふ…妙に願った女は賑ひだよ」

てさらかれの僕も殴子のやうなあ

めるにはみましたけれども…」

本格的にインフレ進展期が、一方輪人間に直面せるこさも 留一四〇件九属九千九白九一、貸付及园收 本月中貸付 高110三件八萬八千二百九 十四國也國收留二三四件

工。合計金九萬九千九百九十四周也 八月末項 三、組合員持口数 八月末項 在組合員一〇九名警姻出資

本月末取扱高

○○線の外○○より○○に人
る線。呼酒、齊克をつなぐ他 人らなかった。 配子

と言ったやうに、人の名献が続てと言ったやうに、人の名献が続てこに人生の運命の高が見せる中では、 さう言はれたので気が付いて見ると、そこには、味、の干枝子が付いて見 「お兄さま 城下 相島 てゐるやうに、「」を聞んだま」 いつてるたっ 英一はさらいつたきり何か客へ 英一はやつばり花のや

今年度釀造高二萬六千石豫想 州内外販賣戰起らん 例州棉花の

0

であるが大樽一概のであるが大樽一概を

世年計畫を短縮

税の全般的改訂を企て既にメ でのンドン七日候調通】英國 では後ねて絹及び人絹輸入 內地金三萬一千五百八圓

普通川資排込額金十代萬九

用個所六十五ヶ所使用人員

星丸萬

印善古

感イ萬

光ン年

紙ク筆

白古岡

梅梅田

園謄

各寫

油世用に決定

相をしたこ

といひ葉でたま」、すぐに腕下の に溢れるやうに流れてゐる人態の 中に紛れてしまつた。 中に紛れてしまつた。 てるたのなの概集の客らしい、きのなりに押し込んだまと爽つ立つ やうにして、ぼんやり雨手を洋荷の歌にびつたり背中を押し着ける 一部も笑ひさとめきながらすぐ目が かいった なまが 変ねった 女達が 変ねる *** そんなものはまるで彼の臓には枕子さんに動つてお上げにならいを強り過ぎて行くのだけれど『あのね、お兄さま。今夜あなた なかつた。千枝子は智らく獣つて のを忘れてゐたやうに、 やうな調子になってい のたが、やがて酸を上げると訴へ ころを見て知つてゐるだけに、さ さんが深ていらしつてよ 英一はもうさつきべつて來ると

各

代

理

及

特

約

店

この大の幕

新京で一番揃ふ一番安い又具店 文具の

知好評を博

B

御知らせ

支電 六五街

出

品支那料

理

頭

內 地 土 產 品 各

種

新繪便新花卜 京葉箋京札ラ 各書各寫各ン 地各色眞色プ 圖種內帖內類

英一は遊尾のことなどは何らでない野師で返事をした。が、千枝のよといったやらな気乗りのしているが、千枝の のるやうに臓を輝かせながら、 な面白い芝居を御鷺にはならない 「さうかい。 そんなに面白かった 製和洋高級等別 圖紙帳用 紙類類品 感襖和內 光紙式外

のかと思つてるたのよ

新京風景葉書高級萬年筆 學用品各文具樂圖板方限紙 名二繪寫 學半支燒 所色絹眞 生紙那付 **鲍**野式器 寫各式ブ 紙天各文 眞鉛紙ツ 色紙信具 4類紙類 種紙面具 帖筆類ク

高級文具軍事務用品

女中數名入川





土を砕べ 吉 井

八月中外地貿易

出超を示す

といへば、原子が解子に向つて相の修養寺の宿屋の残突郷で、原子と上にか明つたのも、その原因はた つて、耳動しいものではなかつた。 「相良伯」といふ名前は英一に取 捻めく事(九) わ。あたしお兄様は何うしてこん るやうな調子でするから少し息を弾ませ

(高根秀浩畫)

勇

競無斷上映上演

新京 定通源ホテル 化四本汽船旅式會報



では今回の では今回の では今回の では今回の

國民政府要人

を網羅し

河北

山東の

往

來

月月月限限限

★大連飛台向

金

第1回 景:003

第一回 第二回

全全全全 客员30

成績不良

▲戶田少縣(帝或在鄉軍人會)
八日午前八時音事天より
八日午前八時音事天より
八日午前八時音事天より
八日午前八時音事天より
八日午前八時後季天へ
八日午前八時後季天へ
八日午前八時後季天へ
八日午前八時後季天へ
八日午前八時後季天へ

水災義捐金募集

重

女問題討議

廬山會議六日より開會さる

道次長。其他要人多數出席討文。外交次長。財政次長、國

びに鮮銀及び 超幣制の圓本位への改革案並日頭金融統制の見地より議門 ける種行銀

関査を行ひ中銀並びに鮮銀。ここさなった。向日隣金融統制の国清を図るここさなった。向日隣金融統制問題につき領洲製御さの折制問題につき領洲製御さの折りのでは九日午前八時四十分後ハルビン親祭に向った

管理局は今回突如ソ聯側下級(ハアビン八日發調事)北峨

領聯合きに對し二十手供給不の減盛を示し商工省富島に紡

任重砲兵學校是

技術本部員

保障を怠し、更に代作鼓勵 ・ 以上に要する経費は大体 三値関以下です個半以内の 計画的な螺線系業でする 計画のな螺線系業でする

行の見込

廿日頃施

▲小川順之勒氏(大連市長) 九日午前八時奢求京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京

新京市况

出來

大五言

足緩和方を陳狀した商工省竹

人員陶汰

侧

さ献られて居る

時なら

れ恐慌を捲起す

(東京九日發網羅) 豊豫要塞

量の収穫に選せざる場合は

地爲替管理法

陸軍異動

の経濟を考慮し茶館の一定では砂糖素及び甘馨でするでは砂糖素及び甘馨でする

明なる點等にて一般職券設りで且つ今回の分も水災義捐金で且つ今回の分も水災義捐金

質値 一巻子子が宝質値 一巻子子が宝

新新新 新新斯林 十二三〇 同短期 二三〇 二三〇 二三〇

第三回

第一回

第一回

製味を來して居る様であ

なく結局圓満に手打が出來るには時日を要する模様だが今には時日を要する模様だが今

ものさ観られてゐる

たさ。なほ同問題は未だ解音談は結局要領を得ずに終

によれば支那の重大調策を決定すべき鷹山會闘は六日より 開會されたが集らものは左の、加く湖民政府の錚々たら人物

一、 単数事業関係 一、 単変問額 一、 単変問数の使途 一、 選際聯盟の技術的援助 一、 選際聯盟の技術的援助

注目されて居る

が同會々員間には最近数回に

田 田 田 のであるが近く嗣任すべき駐 田 のであるが近く嗣任すべき駐 田 のであるが近く嗣任すべき駐 田 のであるが右は國民政 所が却何に對日政策に第監を

「四平街支局量」 過數來四平 時鐵道東嶺洲街市街所在紅夷 中會分會では黄河流域、河北 山東二省に互る南北兩岸水災 香への鞍捐金募集に著手した が結果は不振で幹部は豫明に 反する實情に著んで居る。今 次のものは中華總會から大連

本赤澤中佐 (チャハル隊長) 八日 学後三時三十五分着四

育談は結局要領を得ずに終つ たぎのこさであるが、同日の たぎのこさであるが、同日の

北鐵一議渡は全く

行きしての既得権の臨理問題 はその實行が補別經濟界に革命的影響を異へるのみならず 日本の識別副に於ける金融既 日本の推移を注目されて告 してその推移を注目されて告 ・
応亘つて
備州
顕側並び
に 北鐵讓渡交涉

則し急激なる圓金本位は行をの結果、日端經濟界の現狀に 坂本〇團長

大橋、カ兩代表が鎌倉で會談

要領を得ず物別れ

は二十番手の供給不足が緩和きさなつた。從つて十月以降

米穀統制

リン、アルコールを採取すため砂糊黍、甘馨よりガソ

「東京九日穀衂通」 翻東州及 「東京九日穀衂通」 翻東州及 は間の運びさなり、二十頃 に と が で なり で 1 十頃 で に と か で 2 な つ て 医 る か 前 (審 語 閉 が 遅 れ 延 び 生 な つ て 医 る か 前 (審 語 閉 が 遅 れ 延 び 生 な り で 二 十 頃 で に と す で と か 声 (を 語 別 が と か 声 (を 語 別 が と か 声 (を 語 別 が と か 声 (を 語 別 が と か 声 (を 語 別 が と か 声 (を を) を が 声 (を 語 別 が 上) で に と が 声 (を を) で に か で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を を) で に と が 声 (を) で に と か 声 (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を) で に と か で (を)

士

錢一一物

前途難行を豫想

農林、拓務

間で協議の結果

殖民地に代作を獎勵

外なしさ云ふ結論に達したの

同時に加盟會社に加入すること質會社が率先して増産するさ要員で懸談の結果紡績関も委

任豐地要塞司令官

任少將

輜重大佐 加納 實

詩する

し。更に積極的獎勵の途を

▲ 解川中佐九日午前八時四十 ◆ 解田大佐(爾東革参謀)九 ▲ 爾谷少佐。 同上 ・ 加谷少佐。 同上

だが結局圓滿に解决しやう

日 代表 格の換算率 好意的に解決してもよいご顧りにおいて大横 十五銭を聞執し、ソ聯側でことの清遊を試み私的會談を行つ 問題について 提議し一 第二 の清遊を試み私的會談を行つ 問題について 提議し一 第二 に

り十一月初め宮中に参内 天皇陛下に拜謁軍狀を 英島陛下に拜謁軍狀を 將以下參謀長佐々木大佐討伐の第○○側の坂本中「東京八日體調通」熱河 し現訳維持のまま銀本位を 爾氏は去る六日鎌倉に一日 關稅政策の

一大轉換を企圖す

算率决定の根據について重ね 動し、タズロフキー代表は換

合會は從來屢々紡績聯合會に 不足緩和陳狀

殖氏地内の生産統制を行ふの が副法の補強の懸急策さして 統副法の補強の懸急策さして が副法の補強の懸急策さして

変を見るに至つた 弦に大體順省の意見一致せる

廿番手

經濟會議决裂後の新狀勢に

代表は

過去の漁局貸下問題。米湯一對し増産を要求し

が八月分

北鐵從業員に

勢に處す非常手段だつた。加税は爲替安の昨春米の情

ハイラル某所よりの消息によってチチハル八日穀製油)七日

セネ

スト指令を授く

叩きるのきされる

取で、之を要約すればたの

日

京

榮を賜はる 陛下に拜謁の

日

関貨の動揺をその儘識洲域 を與へる虞れ多大なるのみ を與へる虞れ多大なるのみ 改革强行は順調に進行しつ 由まするち したその理 が発生だが、来議會には左の如き確固たる方針を明示する管である 大藏。外務。商工省陽係者間政策の一大轉換を要するので 裂後の新情勢に處する顕現し東京八日襲図明」経濟會翻 大蔵、外務、商工省對策を練る

間

新

决定

以て進むこさに

下、関金本位採用には日本政府の絶對支持が必要であり 上つ多額なるは替平衡資金 を要するが現在関係替納策 に腐心して居る大職常局を して磯洲崎幣制改革を支持 する餘力なく又日礀爾頭貨 を結びつけるここは技術上 で観視戦展開されんさする形勢だが我認では最悪の場合 進展につれ観税政策の改訂内、復税制度採用の可否 て、 程復顕税設定 由、關稅獨裁權を賦相乃至して居る 和復興税設定の可否決 課税品目を個別的に研究の が否か再吟味を要す。即ち か否か再吟味を要す。即ち が否か再吟味を要す。即ち 必要を痛感する キューバ冲に集中する

米國軍艦一

十五隻

は望ましいこさであるが幣 興隆縣で *現行三割五分の從量税附策を研究の姿あり 日キューバ系二次革命勃毅以来米刺海軍は大西洋艦隊をキューバ近海に集中し、萬一に億へんさしてゐるが、革命は4人表面化し事態製観を許ささるものがあるので、米海軍は七日更に驅逐艦十六隻に對

三 第

東那側の情報が事實ですれば大 要結構な話だかこれは單なる を示ふのである、若しこの支 那側の情報が事實ですれば大 である。若しこの支 がはまなる。 を記述して、 のである。若しこの支 しキューバ沖に急行を命じた 米國政府遂に

「天津八日菱副部」 支部側某方面に譲した情報によれば河北省政府は強化縣知事から次の知事録告に接したさ、即も問題の興降縣地方で最近日

-

號二十四首八千

日満當局が金鑛採掘

單なる支那側の宣傳か

武力鎭壓を企つ

の反米に動の敵化に對し、米一環を企てんさしつつあるにほに東京九日後回面」キューバー政府が武力行使によつて鎖黙

肥を解観して みっか。 損事方しつつ探表の住息をもつて事

務一般を開始する事さなつた 電は蓄種の準備の貧延期され にまたが窓を十日より開館事 事館念々開館と見られる筈で 「天津八日夏朝頃」本月一日

天津ソ聯總領 キユー

軍隊公

「東京八日發調明」キューバの革命に就き八日出淵紅米大。 使より本省に左の如き奏電か

的平穏性に政権の授受が行き大統領は五日辟職。比較 だないに、クーデューを質行 した單和パラスタは軍司令 でクーは 政府が憲法並びに選果法 山淵駐米大使よりの公電

船與の减額が原因

泵

切に教授致します

兽

日本橋

額の投資を行び種々の經濟的の對爾投資に匹適する巨 明確益を有するので。 革命

単命表面化騒亂益す増大す

と がける日本の自衛的行動に對 がける日本の自衛的行動に對

米的のキューがに對する軍

對磷酸係に類似するもの的經濟的利害關係は日本

北域護渡交渉成立の場合全線 めたい とは 一窓に行ふゼチスト 決行に 関 打切る程度に縮少する

蒔きながら甚だよい思ひつき荷馬庫専用道路近く新設、遅

一士十現 月月 月月 ● 限限限物米

では個会権とは、 では個会権とは、 では個会権とは、 の質め現在執らんさしつつ ある非常手段に出するこさは は顕洲事變に於ける我行動 では、 である 自衛處置さ見るべきである 自衛處置さ見るべきである 自衛處置さ見るべきである

するこさが絶對に必要でありにはキューパに於ける米めにはキューパに於ける米の時間の條約上の諸權利を確保

(大連八日發鏡通) 環國々道 滿鐵運輸 委員會 第一回委員會 その日く

經濟欄

海外經濟

委員長以下全委員列席午前十段職。石川州委員を除き村上の運輸委員會第一回委員會は 的密誦方針について一場の挟 村上委員長より委員章組織目一時より鐵道部章職室で開會

力を用ふ、自衛欄行使の意味角の邪魔だてした米盛結局武帝國の崩洲事變に處するに兎 判りましたか

右案は内地米の駆迫を減する立案されるもので、今月末で立案されるもので、今月末で

つてもらはなくごももう大丈 投資の有望を力能、それ程誘

根切する事神靈の如し!

は無料を不要の痔漏で雖の開せずを治す但し質鶏者のは料金不要の痔漏で雖の開せずを治す但し質鶏者 領
ち疾
専門
治療院

期日本日より 新京舞の東京福壽堂出所 館 電三四四八

▲第○○團傷病兵三十三名九 日午後三時二十五分替來京 八日午前九時五十分最公主 八日午前九時五十分最公主 八日午前九時五十分最公主 日本人 八車夫募集

大き、人口の一場にもさい得番り線中店内 ・ 大き、一个口口、一个口(詳細は前数) ・ 大き、一个口見、一个口(詳細は前数) ・ 大き、一个口見、後のが氣あらば左配へお出で下さい ・ 大き、一个口見、後のが氣あらば左配へお出で下さい ・ 大き、一个口(詳細は前数)

毎日正午より八時迄 社交ダンス教授

57 害

初心の方にも直ぐ踊れるやう思

新京會館教授部

元は澤正の愛第子

上山草人の芝居のピラが

この大それた罪

萬五千圓犯人

部長に逮捕された一萬五千圓部長に逮捕された一萬五千圓

國際探偵扱い

公使を

相も變らぬ支那紙のヨタ

既報の如く近く粛洲及び支那て知らる・杉村陽太郎条使はわが弱外交官中の帯盟過さし あす東京發の豫定

題において常にライヒ

シカゴ美術館長より

日本美術展開催希望

外務省に問合はせ來る。

経選ー開化城一二里河手 経選ー開化城一一門の元 二九〇元 二九〇元

お記事は北平、上海その他各地に韓田されたこのここであ

察並に日支護交の打開をは其の最前の任務は前別の親

生活を断念して東京の我家に生活を断念して東京の我家に だが旅役者時代にしみ込んだ所に群務員さして働いてるたが旅役者時代にしみ込んだ んで來たので目下文部省で考んで來たので目下文部省で考 日本端の大作や日本美術工藝 美術展を大郎市で開催しやう 日本美術展が非常に好評を博 品なごの出品を希望してゐる を云ふこさになったもので ョークを始め十ケ所で開いた魔中である。之は昨年ニュー 催したいか6日本美術家等

世界 日本の俳優さし ・ はり二十二才を西井順之助い はり二十二才を西井順之助い はり二十二才を西井順之助い はり二十二才を西井順之助い はり二十二才を西井順之助い

なる取倒を

たが實姉(現村公氏妻)を頼つ

傾時の立つてもっだつのるが

生活 は扱わ切る

放るつなる

大展電きが開かれるわけであった影響を対けれるわけであった。

は來春三、四月頃

汽車公司では経遠主席傅甲義 情視察研究の目的で全國大學後の領洲域の経濟事情並に民 松波博士等 ハルピンへ

綏遠新彊間

バス開通

を一層意義づけんさし各主要

恨は長し

米に適するや此時既に遇し数本の服賊は丘阜を占領し柏原中尉の弁護を貨地せるも屈せずるを屈せず、一環は 機関統加はり少尉を猛射するが此時丘阜及北甸于南端に敵 して突進し將に丘阜飼育五十被勢せる馬に鞭打ち士兵を督 し主力展開を掩護するに決

柏原中尉奮戰狀况

八台嶺

貫通し少尉は朱に染りで落馬を進せるが第二弾は少尉の胸を進せるが第二弾は少尉の胸を 岩角樹林の間に穢い如く泣へなきに非ずや敵は鑑さへ集喰 して敵を腕撃せしる痛慣遺剤 此頃数導隊主力は八家子よ

た赤木常盤女史の母堂と高砂の尉と媼四日菱刈全権に水引細工の高砂を贈っ

高砂の尉と媼を贈る

赤木あさの刀自

放って敵の動靜を搜索すば水石河一宿営し終夜間謀をは水石河一宿営し終夜間謀を

涌憤遺瀬なき北甸

北何子西側に小丘あり大磯・北何子西側に小丘あり大磯

したる第二教導隊選拔の討伐 意を襲ひたるも遂に長蛇を逸

八月三十一日八台嶺を掃蕩

少佐の指導する歩兵二ケ小線 最指導す)は其の夜数官山田

鋼断北進するここなく東進し 東方に銃臂を聞く即ち少尉は 東方に銃臂を聞く即ち少尉は

を從へ急進して敵駅を搜索す

和七年七月除除し、大同元年 少兵。二十腳除二大除し昭 一月の一切軍官候補生ご

| コストー | 村來華の陰 京の各漢字紙は七日附の 其の表面の任務は講洲の親 外相の命により本月十日出 帰閣事務局次長杉村は内田 回公使の渡支については在南 映察を強けるこさになったが 殿町探偵さして有名なら前 で一齊に杉 一文作門 を利用して 一次作門 を利用して ものに外ならず、即ち彼は、質質は頻盟さ中観さの技術 以て其の ンこ同僚たりし関係あるを

からず云々

「東京八日韓國語」数日前シ カゴ美徳館長から我外務省を カゴ美徳館長から我外務省を

催さなつて米朗に展覧目を 臨楡縣々民 满洲國編入請願決議

集合、調場一致臨喩縣の講洲十一日山海鴨城第一區公署に 「奉天九日酸翌頭」非武坡地 の合安耿兄を目撃してるる のの治安耿兄を目撃してるる ででであるが端洲家 では支那政権から脱 代表五名を新京に派す 車で来哈、直ちに特務機關岡に一郎博士を會長さする教授を開始した。 田氏の先導で志士の墓其の 入つた。尚一行は霊地に二泊を見郷しナショナルホテルに し種々調査研究の上十日南下

孫仕ウストムスキー以下十名 総縁競表=銅山號警察の白菜

の拉致事件に関し同船操舵長

は夕刻路領に引返したが翌 本り船内をくまなく臨慢し 不り船内をくまなく臨慢し でまつた、然して右火艇

だものである に十名を引渡して引返し に十名を引渡して引返し たものである

る火艇に拉致露入十名を乗朝八時匪賊は自己の所有す

徐溝に於る爆破事件のあつた柳浦洲城既生の楔機さなつた柳 日彌爾城はこの記念すべき日二周年を迎へんさしてゐるが ハルビンの行事 相は次の如くである 名來襲し同船を奪挿、團山大月二十二日銅山號が四排

同時に路人十名を拉致した

亦色無電臺を設置

共產黨再建運動

東京八日慶國語)警視聰行(高課では共産館再建運動旺ん

一味警視廳に檢學さる

斃す楊王山止むなく急を没方の頭部を貫通し楊玉山の馬を の頭部を貫通し楊玉山の馬を の頭部を貫通し楊玉山の馬を である中第三端は少尉 り火艇一隻急航し銅山沢れより約一時間の後路領

に依り懸うに茶毘に付せ6

有偉なりき ・ 有偉なりき

一四日の月は平原に冴へ征

中尉い遺骸は沐石河に運は

上下の信頼厚く日本人間は勿

蚁導隊將兵日系軍官及數官

し、敵を一蹴して廟嶺西方高 集中せる貸山田部隊の主力は 集中せる貸山田部隊の主力は し四日敵の根據地宋家溝を攻撃し樺樹底トの山地を進 腕に抱かれ三日四度八台衛 分尉の遺骨は戦友日菜軍官

次郎氏の長男に生れ数兵さし、少尉は京都府宮津町の人為 温厚篤實の人

軍官士兵の爲唯一無書の教育 本軍人の眞價を發輝し議門的なり。其の忠烈なる最後は日 少尉戦死の報達するや其功 をなし日端親善の契徴さして

横綱にて飲酒をなし、同店科 既報の如き手段を以つて引出国の正隆銀行豫金礪帳を發見 抽出にあつた一萬五千二百余 率か四日座敷掃除中タンス な舞台生績に確慢を感じ自 に入用な資本を物色中幸か し其の夜は三笠町のおでん屋

豫め用窓して置きたいもので

ルよく九月十五日よりこれ 東せしめ。略車は前部から行 東せしめ。略車は前部から行 に徹底せしめ車内の整理の萬車掌は帰到着前に其の橋窿客 に自己の含め父お互ひの含め 全を期する。旅客におてる各 を實施する様になつた、乘務 4列車到着前後混雑せざる線

十五日から 後部から乗車

軽油動車の

適合同に依り埠頭區市立大会 當地に於ては大体昨年通り日 すべく答々協議してるるが、 歐懸祭を盛大に奉行し建州の関内に於て開州事受殉。職者の 蓄地駐屯の飛行線では哈市上 める事さなつた、向ほこの日人柱こなつた幾多の英麗を慰

偲ぶ争になったの獣縁を行び意義深き當時を を招き講演會を開催する事に 機関では事變に關係深き將校 各工場の汽笛を合圖に全市 空で宣傳飛行を貸し、 間は事務操業を停止し頭行 車馬も一齊停止して卅秒

服毒自殺 公主館の

綏遠一」化城—

迪化 三二〇元

松遠—歸化城—古城

て目下調査を行った精果市内 館で服業自設をはかった杉本 館で服業自設をはかった杉本 氏止宿入梅本正次なる事が判三笠町三丁目露店商出中正和

銅山號遭難の

模様を語る

加操舵長の

厭世と判明

「大連七日酸 wim」大阪朝日 新聞編輯局長緒万竹虎氏は経 新聞編輯局長緒万竹虎氏は経 一次連七日酸 wim)大阪朝日 局長來滿 緒方大朝編輯

警備の萬全を別するこさとな 即方住民の協力を得て、鐡道 即方住民の協力を得て、鐡道 を登職合會を組織し、 五日開原備鐵地方事份所 合會を組織

より機闘するここになつてるれに遠反せるものは連坐伝に た同會では會則を制定しこ

は来る九月廿五日ポストンを出設し第二次兩陽探險の壯途に上る旨、本日酸表し各方面の注目を惹ひてゐる、少將の中回探險する目的は兩個大陸の地圖作製並びに新陸地の酸見等にある、除員は七十名で前回さ同様數臺の飛行機を携行の筈である

以て盛名を博したパード少將 行機による南北南極の探験を 探験を 發表 探験を 發表

観き午後四時から新京チ

て興味深いものがある で興味深いものがある 秋山第四課長 あす着任

山中佐はいよく、明十日午前は開東軍第四課長に新任の秋後坂出大佐の後を享けて此の 八時着任する事さなつた

傷病兵來京

車食堂自慢の料理

明十日8曜日午前五時より西修養閣新京支部では例に依り 美壓式保健講話 市民早起會ご

兩女子を交へ **怨**談會

の機性者にして第一期軍官候

少尉は實に第二教導隊最初

は深く且強し 日滿協和の契機

補生出身者中第一回の戦死者

一游動警察隊員の 遺骨今 皆さ 夜故國 ま送りませう

に帰るとさくなった 後十時新京輝俊列車で警察隊小野川、 た寛城子游動警察隊小野川、 祭除員 及び家族に護られて故郷田、鈴木兩警長の遺骨は九日午討伐に出動中名譽の戦死をさけ

世自殺をはかつたものである。 其上思はしい就職口もなく厭 明した原因は惨て神經衰弱で 村を以つて沿線三十九ケ

て各方面より注目されて居る 関さしては割期的のこささし 関さしては割期的のこささし (北平八日殿協議) 津浦殿道 北本浦口間の所要時間三十 てゐるが右質現の瞻には從來 改正しスピードアップを闘つ の直通列車運轉を計畫し既に 九月一日よりダイヤの一部を

鐵道愛護聯

がード少將極地探險の 「八王子八日健迎鑑」 昨午前 「八三を婦失した、原因不明、 八戸を婦失した、原因不明、 損害額数十萬圓

奉天實業團

副チーム 2 西公園球線で對戦 京に來征、 学後一時から議洲

銭の大英斷的大奉仕を致均一ビール三十錢酒十五 禮申 **貸の紙態店員一同厚く御様の御好評を博し日夜満** ては謝恩の爲め九日より 開店日なは淺きに不拘皆 上げます 就きまし

して言た 町田町 赤の運動に利用

高雄(ここ) (二六) 始め柳

約一ク月半の豫定で北支去がので議別過成立後の各種 で行かっき思つてるます 津浦線でも スピードアップ

汽車食堂 象を 深い好印 吃度皆樣 こそは… での一食 おわたへ 食慾の増 すること にあるし す時です 1

汽車ランチ、鍋料理、支那料理、うなぎ料理、松茸料理、支那料理、うな 二八五通 條 6 四九四話



いて、養を取るや一枚二つに動れ

『お嶽陽・戦ら山を切つても此識

き。其上にて予が手附に致する

忠太大やをら立上つて、此族に

此の歳へ持続致し、

朝に見せて遺

承の上三等は直に各

品一二等は御希望邦

當籤(各組共通番號)景

去月廿二日抽籤(新聞

青祭代理店立會) 下 能 御

成功を收めて終了!

空前の

夫々發送尚は當籤洩

の向へは規定のト

ス紅茶其節拜送濟み

大が、資面日盛つた顔して、手場

「能く軽した。忠太天衆士鰈の脈

何と 仰せられ まして

しやる、真御館へ出さつしやい」

「お菊殿・御前様は四阿に居らつ

心だ恨みと見ひ、能くも際に代る

ねじけた者ゆる。汝も子として解

大夫が待つてゐて、

ハへ来て見ると、其處には棚川版

随へ都形とは不用職な事」

るに、何で左縁な大それた事数し

● 專屬荷扱所 各地國際連續會社支持 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 電話四一三七番 電話四一三七番

非常時營鐘の赤玉日

郷り呟いたお茶は、電池の用意

しても此夜近け此窓さの中で、奥智は静かであると思つた。それに

世の魔を職した観世界。

『オヤ知らの間に此書の遺理で今

とも思つたが、瞬時りで四邊は明

が心に從は口も父の似と子を恨む

のはいないでは、 のないでは、 を のないでは、 がいでは、 がいては、 がいでは、 はいでは、 持から権野が『勝様が召しまず』と血の源。 (III+III) (維度化) で、丼がの父都挺都内を開始ったる を、丼がの父都挺都内を開始ったる

●112碧の人 英事油断すべか

返しのならぬ日進むは大凶五黄の人 計機齟齬して取

地味に獲めば福

電話二一三七番

を附けて失策を招くべし

といふ難に、二度吃熟。

アハイ、 略分級ります」

お恨み申しませる。所辞がのないしたも、お願刑受けましたも何で 命助けてお召使ひ下さる御恩。私 此庭の何せつけ門りは、野人子あは腹た間も窓れは致しませぬ。略

職様の仰ださらにございます。 師様の仰ださらにございます。 脚形に飾つては観いましたが、お菓一人をとしてございます。 即形に飾っては観いましたが、お菓一人をとしています。 原料に飾っては観います。 原料によりでは、 『オ、お頼さん、何の御用か臭吃 漢を贈して素知らぬ態。新屋を 「知るまいと祝じ居るか。青山家 だから我態先が無観したる、恵士 おから我態先が無観したる、恵士 『お、総様もない我対像、父はな 遺伝を晴らさん盛、斯線な企みを

> 利益も相常に揚る幸運の日 ●七赤の人 福運再び廻りて 徳自ら人の來る良好なる。

巳さ庚さ癸か吉 亦多し堅く定業を守るべしれ紫の人 危地に降り損失



電話二二二四番

本たこま丸、九月十五日 香港、丸、九月十一日 がかる丸、九月十一日 がかる丸、九月十一日

スしあざる 丸 九月十六日 京米利加丸 九月十七日 京米利加丸 九月十七日

古理町二丁目 0 村岡吳服店

今秋流行の新 吳 柄

陳

服の店

領京女學校制服調製所



昂 破 先 己 日 宿 系 勇 即 聯

鏡

臺

世帶道具が揃ひま 家具ミ敷物 新京日本橋通 品

川

行

御諒承を「茲に應募

責各位に對し深其

折疊寢台。錦紗訪 (內一晶)。十八金側腕時計 (各國旗附)

二等トランク

三等 日の丸國旗 4 43 67 75 83 102 121 142 147 217 257 306 331 350 353 366 367 392 393 470 481 483 506 508 525 563 580 631 666 671 693 699 719 724 748 753

又は スーツケース (各種政府) 300

十文字屋 第二七三〇衆

御病氣中、若しくは恢復期の方の食物 は味の素を用ゐれば食慾増進、その上

滋養豊富で益病氣の恢復を早めます





をさるとこを約した。マンチ する事について充分幹旋の祭

時局打開氣運

米國の干渉を虞る

一層8中更に我が綿業代表一一層8中更に我が綿業代表一

(ハパナ八日酸調油) デセスペラス假政府の崩壊以来キュペラス假政府の崩壊以来キューパの政狀は混沌を極め、假 安ごに疲れ、反革命勃祉の用 変に時易し八日に至り途に必

品打明第を引 してある。今やキューパ以内 してある。今やキューパ以内 にたりのの国際には多数の軍隊が勝貫

総監督官らど會見

「大連九日酸製通」東京社在 ツゼエート商務官コチョトフ 氏は九日ハルビン丸で楽満したが。左の如く語る 朝鮮、強洲の各地に在る蘇聯建商代表は全部東京の管 10回絡をきるため來ました 最近日蘇間の通商關係は何 めて圓鱗に進行してゐるの のて私共も多忙です。今度何

であつたが、最近研究調査會理事は昨年來支郷りを計議中

行總裁張公権一派の浙江經濟等た處。今回圖らずも中國領

北洋漁業の

財界巨

頭らど會見

顧問に伸はれ貿易省總監督官 表一行は八日午前十時半門野 表一行は八日午前十時半門野

技術方面以外の常任重役は何 技術方面以外の常任重役は何 技術方面以外の常任重役は何

經濟關係惡化

我國から三國へ警告

「ハルビン九日 軽酸油」徐家で大く位哈東方約十二支里) 附近の腓賊討伐のため出動せ も拉哈守備隊鈴木軍曹以下十 七名は九月11日午後二時半該 地南方約廿支里の地區に於て 北京さ遭遇し受戦約一時間半 の後こを殆んご撃滅し午後二

三十二年の 現地で歩の成行きは重大側心 出験し北ば 開京に向け

到着せるタンク車十五幅をボースの出境機関車に就しは崩出の別個の影響されて過剰交地部の別個の影響されて過剰をあると、大学のの場合の影響を表現して過剰を表現して過剰を表現して、大学ののを受ける。

任挨拶に業保方面を歴訪した 領事佐々木高養氏は同道十日 領事佐々木高養氏は同道十日

要へソ聯切の不正行為の剔決 助すべく活動し。中途取法を 理局長の権限問題に親し奉該 理局長の権限問題に親し奉該

十河理事の

をなさんさするに在るが之改訂を目の前にして準備工

れてるる、フランス及イタを知れぬきの懸念さへけはの経濟競争を激化さすか

對米 - 日本に重な

棉業の底カを見せた 前期の一割より一割六厘さな り大厘方の上向きを見せ本邦 間に比し二百六十二 原四千四 明に比し二百六十二 原四千四

以上の如き情勢より見てわが

加盟の六十二叶上半明成績三年東京九日鏡嶼町)紡績聯合素にいい景気

北鐵現地交洗

成行き重大視

満洲側の要求望み薄

を來してるる

吉澤總領事

してゐるのでソ聯側は大恐慌 の北暗貨率の引當になさんさ である。

經濟ブロ

ソクによる

は経費問題も大なら障碍見は経費問題も大なら障碍見である米さの関係. サラミしてある米さの関係.

管下各隊長を召集して九日午

九日司令部で

年 入り午後四時半別會した 「日 報告あり、引機き重要協議に 長出席、総長より各地の情况 長出席、総長より各地の情况 では、 一 日 報告あり、引機き重要協議に 日 報告あり、引機き重要協議に

大新京郵便局郵便課長木村良恵任挨拶に羈係各所を歴訪し

長會議

憲兵各部隊

新舊郵便課長

更任挨拶

外務、陸、海軍三省聯合會議で

井 上 洋 上洋服店

新布地豊富人荷

な新顔が現はれるか市民各間くが、その候補者にごんで、これの別込みださい。 とりは前者にごん なこささなつた、 今回 來る十月一日を以て行

は睡薬すべきで、全然ものの特典で肩書を利用しやうの特典で肩書を利用しやう

低ささもに僕は誠に興味あ

長だしいものである

000000

000000

0

0

ものである

交通量調査

ハルビンで

異にしてゐる。 しかも今後 殊に薪 長春 時代 さはいろ

|関ルーには如何に發展す 地方委員たるものを使か今その途上にあるのだ

のだ。從前で認つて今頃は正則翻長の如き特に愿望に正則翻長の如き特に愿望に正則翻長の如き特に愿望に が機分多いこさも思ふ、そして切かねばならない機會して切かねばならない機會

てやつてゆけるかごうか 「ハルビン九日級副母」 ハルビン九日級副母」 ハルビン九日級副母 では都市計畫の第一歩たる道路計画 間幹環道路の交通量調査に著 した即ち、一定時間に調過 では 一定時間に 調過 で、
こよつて道路の領員補穀材料 を決定し大ハルビン地と
の第一歩たる道路計画
では、
のであ

究會 藤崎長南下

十五日朝陽京の豫定 ため十日午後十時新京を出登 ため十日午後十時新京を出登

中銀國幣發行額(自八月二十五日至八月二十一日) 〇七。大大八。二四四圓

七二、七六三、大九七國一七二、七六、七六三、大九七國一

栗原總領事 各方面を歴訪

原機関事は養任早々各關係方

(きのふ商業講堂で)

界巨頭連が确洲朝の經濟建設

ンをおけ互ひに胸襟を開いて 管つたが非常に関でシャンパ が出来た、于郷忠氏さも昨日 が出来た、于郷忠氏さも昨日 なく仕事をして行きたいさ思 語った「今後共協闘して遺憾

催宴廳長

管內視察

畑〇側長の

【チチハル九日 を回過) 蓄地 ・ の高橋高級副官外 解校六名 ・ 兵若干を随へ駛甲列車でチチ ・ 兵若干を随へ駛甲列車でチチ ・ のル酸克山、海倫力耐に向つ 職を交はし数談八時半頃散會 野あり宅客三鞭の盃を乗け祝 のこに對し鄭貞務總理の謝 時半から新原ヤマトホテルで作氏の就任披露は八日午後六 日禰各界の代表百餘名を招待

本が合一社、没 工二十美国 第田日魯 林、海軍、週信其他各方面を 薬の無統 歴訪し左の如き動策を掲示し 薬の無統 歴訪し左の如き動策を掲示し 本学漁業 に大角海州、南磯相等の賛富 に大角海州、南磯相等の賛富 と得るに至つたさ

をキャトホテルに招待、着任 お課長以下購買軍司令部常局 行夢事官は力日午後六時小磯

おいよく~ 管 現さる、事 さなり、目下緒般の準備を急いで居る、渡支の目的は支那經濟制度の研究の観察さら方面の財界巨明度であるが、同氏は日、標、印三一分詞の經濟的親日、標、印三一分詞の經濟的親日、概、印三十分同の財界巨明度を持てある事を

國民國語(個別國

永久的實後を企圖し最近農

事紀念に西族場小學校父兄會 敏氏は大連移住につき子女在

の氣温は高十九度、最低・ 氣と氣溫 最低十一

流杵可の制限を含すここ 近り漁業も少統一するここ 近り漁業も少統一するここ で以上によって跨崎漁業者及沖 がの流来も少統一するここ

開催、多数観覧者が押し掛け非 かねて東亞産業協會に於て議洲かねて東亞産業協會に於て議洲

は非常な眠びを呈した。十日 は非常な眠びを呈した。十日 は非常な眠びを呈した。十日 はのである

産業建設ポ

スター展

沖彼り漁業の統制を貸し出

商業校講堂で

波光山山吉澤洲軒,川上一 一南秋虎天 藏月天洲童行舟

A 吉川秋齋 吞風

廣 天 光軒 澤









當る 入場料 十九八特 日日日等 (罗特正)

圓三十錢

盟 曲 浪

會大曲浪的期劃の後絕前空るせ羅網を萃藝流名の西關ルーオ









記しは以來、新京署司法保統理部工務課雇員安徽保

支那の大空軍案は

馬鹿にならぬ

我陸、海兩當局觀測

はでそのはち切れそうな若々 はでそのはち切れそうな若々 はでそのはち切れそうな若々 はでそのはち切れそうな若々

△獨洲國

新京商業の對戦は十8年後二 開幕戦だる調洲刺政府チーム 新京秋明ラグピーリーグ戦の

けふ午後二時半から Wの H、B、音松、丹澤 下、B、朴、横本が納が飯田

新京商業と満州國

教官一のに練習す

梅軍では左の如く言つてる

した一騎笛千の古つはものでり。一方政府チームは普鳴6

F、W、條、小熊、雖波、飯 用、B、武內、植木、糠島。 从、小熊、北波、飯 題毛、古海 度毛、古海

ちご云ふここだから馬鹿

るさすれば、その続により 空軍建設、航空路開設等す 支那が他級の援助を受けて

呼んでゐる。倚南軍のメンバするものさファン連の興味を此の兩軍の踟躇は相當白熱化

り幸ひ一命を取止めた元闕東の中國家藝妓さ服奉情化をはかの職場。去る代九日西丞園で全

京

詐欺罪

藝妓を情死の片割れ安藤保

人國外人槪況は次の通りであめらう。なほ八月中に於ける股に知らるるに至つた爲めで 名營口五四名彌洲里四四安東一七三名山梅爾一〇 八名が第一位に居の宣教師九八名が第一位に居の宣教師 四一名醫師二九名 新聞記者一六名等あの其他 新聞記者一六名等のの其他 新聞記者 一六名等 師二九名 三、職業別 商人の一九 大二八名リトピャ人二四名 波蘭人二〇名瑞两人一八名 蘇聯人一一八名獨乙人四二

、入國數及性別

行の安全で愉快が

まして多数を占め居るが英系路人四二六名に選し依然

線で一角を表現である。

九月十八日禰洲事慶第二周年を意義深く配念し國民的感激を繁養にはするため既報を緊張を新たにするため既報を緊張を新たにするため既報を緊張を新たにするため既報を緊張を新たにするため既報を受けるという。

右の如く関東軍工務課員を偽

以つて金百圓を借り受けま

商關係商店より同樣手段を

事變記念日に

官民祝賀宴會

正午西廣場講堂で

よらものさ認定。全力を撃り走せる點より雷局では潰恨に

▲八月六日市內祝町建築材

是距離通話用電話機一倍好

恢復後の識別を一

百キロを翔破し午後四時で六日錦州を出産。一年の五機は藤田大尉の

飛行の

五機チチ

ハル着

に向け住復飛行の途に

ヘル七日銀」 満州治安

るに大連五八〇名を筆

た、な怪彼が戀故に犯した酢段落さ共に館駅第ミとして一件 又は市内最密電報局窓口へ新に對する支渉は中央電話局か中央電話局が 中央電話局より夫々各加入者の電話料金支拂請求客が近く たの點を注意して欲しいさ同へ破送さるもが右に関し特に 京郵便局競打の八月分迄の電

日迄に支拂ふこさになった 月納制で毎月分を其の前月末電話使用料其の他料金は總で 乙號金二圓五十錢

電話料金 支拂ひに就て 0

初京中央電話局から注意 | 水害の支拂明日を繰下け九月| 水害の支拂明日を繰下け九月 電話料金關係

つたが其の主なるものは 卓上電話改一箇每二月期

多のりにして即化せしの過走の三名を鋭利な内切庖丁で滅 午前四時頃市内水安街の雑貨(チチハル八日麓城通)八日 商器順水力に歐名の兇漢が表 千五百四十八人に比して

十六日午後四時迄 九月十八日正午

開州側は總為縣資程處で右申日本側は地方事務所庶務課。 チチハルで 主從三名を

備機計員管では曾に関する一 膨れる大 八月末附屬地人口 新京 で秋季運動會を舉行する 雨天順延午前九時から同校窓

を石板で

滿鐵社員會通知

普通學校運動會

刑の判决に対して司法部が再結先が無罪の判决に対して検

的宣傳によつて我もくご押人気気は拍車に輪をかけた大々高洲図首部大領京の素晴しい

同 女 八、八九」 朝鮮人男 一、二三四 同 女 工、四四四 大 五七六 一 五十二三四 一 五、四四四 一 二三二五

禺六千名突破 秋季ラグビー戦 じであつた

戦始まる

「東京九日経國連」六大學野 をが、當日は恒例の入場式、 をが、當日は恒例の入場式、 をが、當日は恒例の入場式、 をが、當日は恒例の入場式、 をが、當日は恒例の入場式、

秋季リー

十一日から二日間長春座は上年のなして名人聯盟を招き入場のなして名人聯盟を招き入場のものなして名人聯盟を招き入場のものなって名人聯盟を招き入場を持つのという。 向きを主服に開演させることのもを主服に開演させることのでありません。 天中軒滿月 關西浪壇 人に続くさ

流筏運々

待佗びらる

節の廻しあくまで深刻な藝風は神秘的こでも云いたい、米 は神秘的こでも云いたい、米 ちの浮き調子にひき替へてぐん くご聴者を深みに誘引する力強い斯界稀にみる藝術家である、「美しき罪」「死美人」「悪中の等」等特に推築に償する好演技と思ふ 耳ざわりの良い聲調高路的ななでで板機軸を出してるた。 流筏開始以来上流の匪賊横行 さ江水の帰係なごから真に稚 株江採木公司では上流の匪賊 株江採木公司では上流の匪賊 たる流筏狀腿であるが、鳴 を歌量に近づけんご努力中で あるが現在下航中である流 では十五萬尺締で著筏全部

東のあるもので思ふ である、然し日吉川流の軟派である、然し日吉川流の軟派である。男性的なそして譲 河である。男性的なそして譲 がある。男性のなそして譲 等しきため、充分の活躍出来間準備江水上警察局では従来 鴨江警備の 一偉力加はる

市民各位新京時局後援會長期和八年九月十日

荒 本 章

在萬尺掃も足らず、十月中までには三十五萬尺締に位は者 で二十五萬尺緒しかならず

宫或縣人會澳代鄉三區町內會 山名津 #郎三馬助藏治サ 切の頭知報告を一階速かにする質め各分會に通報板を備へ有ける事になったが、これは石板製の見ごさなものでこれを利用活用した際には社員會常に明待されて居る 審制度改正 あすの國務院議で

1、暫付懲治盗匪法中改正の職上程職案はたの二項である 暫行懲治盗匪法施行中改

昌圖に

記念スタンプ

沙河口開原

なほ改正理由さしては大同元を数令第八十一號をを布された懲治盜匪法は全然一審制度であつたが、裁制の公平を明する爲め判决に餘裕を存する

あすから長春座で

浪曲名人聯盟

今年掉尾の巨頭ぞろひ

り候 一切 一時 三十分死 中の 處 九月 九日 午後 一時 三十分死 中の 處 九月 九日 午後 一端 高端 病院に入院

で盛大に同校児童秋季大選動名を以て各方面へ案内駅を受べるがで山本校長パ

昭和八年九月九日朝行出り候場所都職は明十日午後四時自宅出棺大正寺に於て

關係議案を上程 準々決勝で アー左の如し

持者強豪マンギンご對戦セフ

イラク國王

豫ねて観京群

に申告をなしたので機械五台 をする名で、今後の江上警備 に一億力を加へる事ごなり明

▲バー上海の柱チ研察一のイ

男性の織てははだかで逃げ出る。 おいに似合すなか / 凄い胸の別有 者だ 彼女に かてつた



《多文日常が達員會人婦合聯京新 (す場で所習講事品) 中作製を章胸の花造

驚歎の他なし **米國の哲學者語る** 發展 ずさ言ふ者もあるが新聞にが整備しても怖るるに足ら

否か

杨本、帝河 小松、川口、坂根、 原谷、

最後援曹に金一封を寄附した哲奨返へしの意味にて新京時哲奨返へしの意味にて新京時

花輪氏寄附

共に便軟滑稽浪曲の兩大闘である出した瞻星である、上島で遊味のある藝風は駒蔵さ

日吉川秋齊 先代秋水

有給外務社員招聘

から見ても日本のアジア大振りである。此理想的施政

の副取締

である現在呑風さ共に親友派である現在呑風さ共に親友派

廣澤虎吉 カ士婦の演者

を隣頭に持つこさにならうしやりから怖るべき空軍國は出来り、飛行機数も増加

米観から

日下央人同伴領奥島洲崎の智は八日朝大和ホテルで左の切りユー、ディー、メイソン氏リュー、ディー、メイソン氏 一短日一が新くる異 間に見て今更驚歎せざるを

塩その繁榮に導(であらっ

一時的行動さ信じた人け

る、日本の領刑進出を單に

ける日本の域洲に於けるこの二點に着想し努力を頼 が日本「園」に對し聊かの高等を回收し新紙幣優々に成等を回收し新紙幣優々に成

田大当門 見る時特に 原銘の深いものがある。道 の数果ある貢献の一である。 が、日本は又或内の観道系 は現内の産業的最展に割す を除去せんご努めつしある。 は現内の産業的最展に割び を除去せんご努めつしある。 は現内の産業的最展に割び を除去せんご努めつしある。 である。 は現内の産業的最限に割び を除去せんご努めつしある。 である。 は現内の産業的最限に割び を除去せんご努めつしある。

は編州國に終て変も新かる は編州國に終て変も新かる をの登展に努めつあるが、日本 である、新たに経済機構を である、新たに経済機構を である、新たに経済機構を である、新たに経済機構を である。新たに経済機構を はな外の安値で開演するもう 独つた大きで入場料も大衆司

年前八時三十分から同校を居場の大運動會 見童の大運動會

X

、希望者 は既居書手 命 新京日本福運新京ビル三階 京日本福運新京ビル三階 マロー 0 無各を地

全滿各地魔意 問題は意 意

四出 A.張

木板藝術展覽會

京川 呑風 新譜曲の古豪に入つてゐる。 かに筑波に蔵 無したる鱗風は正に枯淡の域 無したる鱗風は正に枯淡の域

左記の通り開催につき奮つて御高覽を御願ひ申上げます木邦版畵界の首位を占むる高見澤版の木板藝術展覽會を

浮世繪、油繪名作複刻版畵

新京中央通新京圖書館

ષ્ટ

愛とに富む

白衣の婦人を派遣

海外協會の優しい手で

第三回目の締切近し



(=)

目らの堕落 婦人は慎しく朗に淑かで 心すべき數々の例

秋口に多い

高級レデーメード 合 富 服 生地--裁斷---仕立---入 きつと御氣に召しま 冬

す

!!

近代的流

行

Ø

を誇る

服

豚まんぢう 荷 通日朝福本日亨新

洋服店 電話二六一九番

二キビの手當



定 仕 西 京 電話 四八二六番

料 出食理 食 食 道 樂

歯を磨く

寢る前に

は夏の頃から始めるのが

ああ信たの日

價 格 底 康 品 質

大連煉瓦醬新京出張所 住吉町二八八鐵北)

瓦製造販賣 證

荷

品品

庵 新

生

特

新

管票所 I

節約シ得政良煉瓦

海 商埠地 西四馬路室町一丁目十七番地





前

南生は御安心電話有り次第ボボッツに過減をたても興届致しますというお請合ひアゴを落さね機利用の食器洗は私がさせて頂きますれば飲め事で毎座います。度お召あがり下さいますれば御氣に召すことがの事での座います。 度お召あがり下さいますれば御氣に召すこ

し師何ひ致しかす

出

天津ポーズ

滿洲

Ŷ

マハ

番三二八四話電

日滿うざん

MILL

图

ŧ

ば

其母一品本語

料理

冰樂町一丁目電四八三五番

、嚴寒ト雖モ凍結ニヨル建物破損ノ慮、地下室其他濕地建物ニ好適 改良白色煉瓦 **| 投械製ナルラ以テ寸法正確且ツ堅牢** 便質ナルラ以テ建築物ノ永久保存ニ ラ ラ ラ コダツクナーゲルカメラ各種 イカ用引伸機 イカ 1 賣 カ カ 廣 望 D 角 遠 型 计 力 V アロ井) 京銀 吉 野町) 寫 眞 館販賣部 電話二三九〇番

夏耳條米克

はと法療著吸

夏の衞生」(小冊子) 申込次第無代進星

1000錠入

三円八十多 五00錠入

円

錠

劑 (黑錠)

-#

円 素 A O 錠入

五十多

糖 衣 (白錠)

發病當日入院体溫三十九度 と 大分脈搏百四十九至時々極 で 大会三錠宛ヲ番茶ニ混和シー の 大会三錠宛ヲ番茶ニ混和シー の 大会三錠宛ヲ番茶ニ混和シー の 大会三位の服セシム翌々日 の 大会三位の服セシム翌々日 の 大会三位の限セシム翌々日 の 大会三位の限セシム翌々日 の 大会三位の限をといる。 の 大会三位の の 大会一位の の 大会三位の の 大会 の 大 の 大会 の 大 の 大会 の 大会 の 大 の 大会 の 大 の 大 疫 痢 山〇文〇 急性大膓炎 食餌不攝生ニ次イデ裏急後 1三0錠入

へた潰瘍面や爛れ粘 之に活性を附加して一層吸著効果 果優秀な植物性炭素に更に特殊の

を發揮し悪疫を未然に豫防し得るかを首肯せらると する特徴を以て居るのであります 整へ身体には疲勞倦怠の副作用なく極めて少量で奏 ス錠がざんな問 えなが夏の家庭常備薬として遺憾なく効 を寄せられて居ります以上の成績 性慢性腸カタ て居ります倫又多數の臨床大家に 一六四號)學界に發表され又小山 陽桿菌有毒瓦斯の生物學的實驗を 國大學醫學部甲田醫學博士に依て 学理的根據に基き吸著奏効するか 限の損傷部までも被ひ補ふて便通 を吸著するばかりでなくり壁に出 **著嬢法劑であります從つて唯單に** 以傷風南毒素の吸著實驗を行ひ共

然大二振フ加寮四日ニシテ 齊〇二〇

急性腸カタル

ア痢一日六七回粘液ヲ混ゼ ア痢一日六七回粘液ヲ混ゼ ア東・シメ下腹部温罨法ヲ アルスカルのでは、 アカー日六七回粘液ヲ混ゼ 0 勇

消化不良性下痢

大膓カタル

(醫士 五十嵐雄二氏

以後下痢ハ全ク消失シ敷腸ナリ爾後反覆セルニ第五日ナリ爾後反覆セルニ第五日 翌日下痢半減解熱ス更ニア ドース五瓦ヲ頓用セシメタ ス五瓦ヲ頓用セシメタルニ 全ク消失シ全快ス

き・

元大阪桃山病院副院長 醫學博士 山本利平氏 報告

勝チフス

き

見

龍〇三〇

アドースノ浣腸ノミヲ行ヘルモノ赤痢二十五例内服ノミヲ行ヘルモノ赤痢二十三の勝チフス十例の疫痢十三の腸チフス十例の服ノニシテ何レモ良好ナル成績 赤

黒〇明〇

リ下痢モ亦止ム

一例疫痢二例皷膓三例加答兒十八例急性大膓炎三十例小兒食餌障碍膓結核各十八例急性大膓炎三 **金属性土小坂禮二氏報告**

結ヲ觸レ壓痛ヲ訴ュアドーニ十八度七分S字状部ニ硬重下痢一日十回粘液便体温

七 7 通縣山連大 所張出連大 · 二四町門小西府城京 店支城京 二町修道區東市阪大 店 商吉友澤藤